

クレドール(金の鍵) 使いやすい



それ、もしかしたら“嚥下障害”かもしれません

“嚥下障害”は誰にでも起こり得る障害です。飲み込む力が低下し、“嚥下障害”になると、“誤嚥”(食べ物が気管に入ってしまうこと)を日常的に繰り返してしまうといわれています。嚥下障害のサインを見逃さず、適切な予防・対策を行いましょう。



むせなくても
誤嚥って、
あるのね...

こんなことはありませんか？

- 食事中にむせたり、咳き込んだりする
- のどがゴロゴロなる
- 食事を自分から食べようとしない
- 飲み込んだ後、湿ったガラガラ声になる
- よく熱が出る
- 食べ物が口の中にいつまでも残っている
- 口の中が乾燥している
- 痰がたくさん出る

誤嚥を予防する対策

食事の姿勢に気をつける



食事のメニューを飲み込みやすいものにする



誤嚥しやすい食事例



もしものときには・・・

「声が出せない」「呼吸音が聞こえても、ゴロゴロ、ヒューヒューと音がする」等の症状がある



窒息(異物による気道閉塞)が疑われます!

○咳をすることが可能な場合→咳が最も効果があるのでできるだけ咳をさせます

○咳ができず呼吸も出来ない場合→以下の異物除去法を試みます

背部叩打法(はいぶこうだほう)

- 患者の後ろから、手のひらの基部で、左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も叩きます。



○発見時すでに意識がない、また異物除去法を実施中に意識がなくなった場合
心肺蘇生法に着手します→直ちに救急車を手配!

症状が気になる方は言語聴覚士が状態を確認致します。



クレド訪問看護ステーション

本部 ☎072-681-4670

阪急高槻 ☎072-609-5208 吹田 ☎06-6170-6760